

加入光ファイバ等の提供遅延 に関するヒアリング

2022/4/25

ソフトバンク株式会社

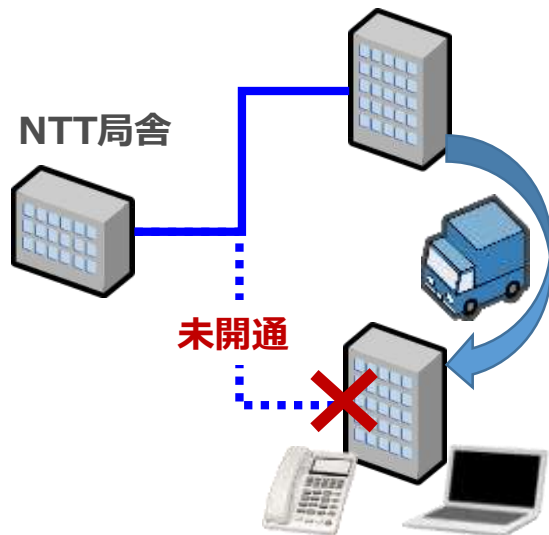
1. 開通遅延の要因は、事前の対応で予防可能な事柄や、解消までに多大なコスト・時間を伴う事柄など様々
2. 先ずは、遅延を発生させないことを第一としつつ、遅延発生時の対処として、**お客様へ必要な情報をタイムリーに提供し、遅延発生時でも十分なスケジュール調整を行えることが重要**
3. NTT東西殿においては遅延予防に必要な対応を継続的に講じていた
だきつつ、**必要な情報を共有する新たな仕組みや、遅延及びリソース
枯渇を事前に抑止するための取り組みをNTT東西殿及び接続事業者
間で前向きに検討していくことが必要**

1. 提供遅延によるお客様及びビジネス影響
2. 直近の状況
3. 加入DFにおける課題
4. 局内DFにおける課題
5. その他課題（コロケーションリソース不足・芯線枯渇）
6. まとめ

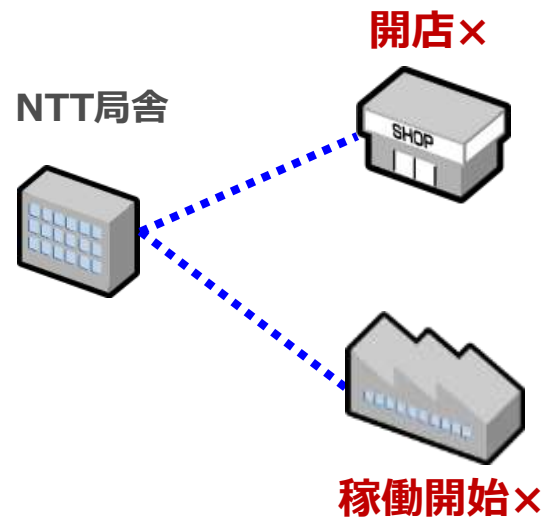
1. 提供遅延によるお客様及びビジネス影響

加入DF・局内DF・コロケーションの提供遅延は、
お客様及び接続事業者のビジネス影響大

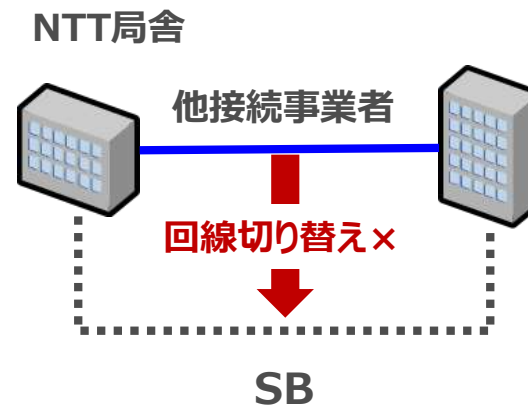
引越し・移転後に
通信が確保できない



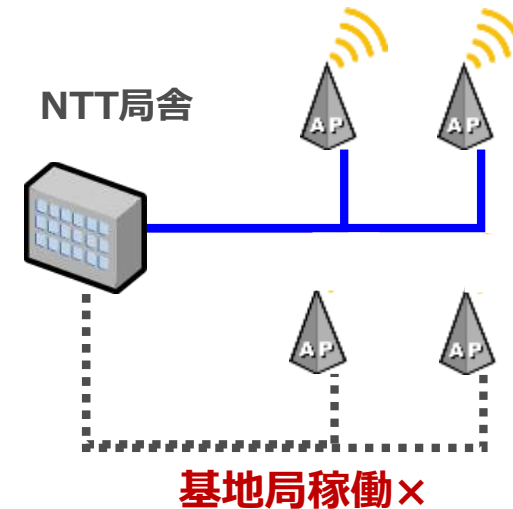
新拠点・新店舗での
ビジネス開始遅延



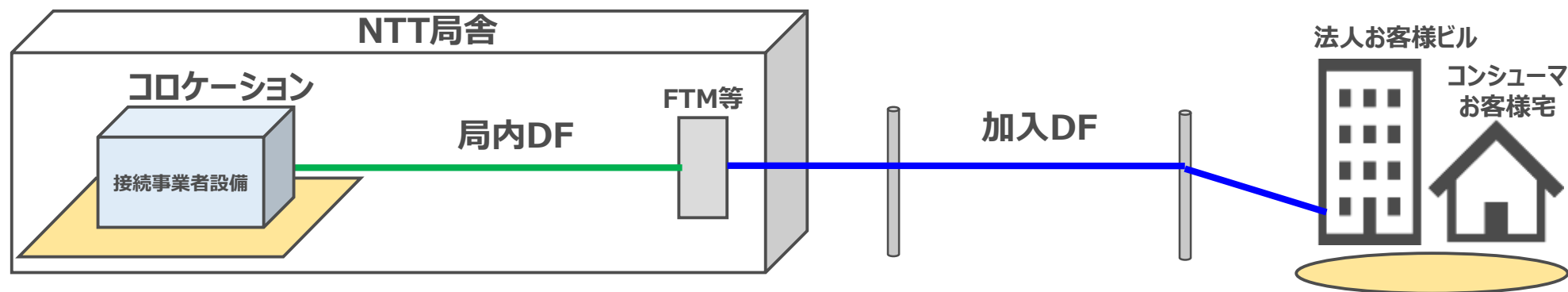
他社からの切り替えで
受注失敗



基地局開設遅延

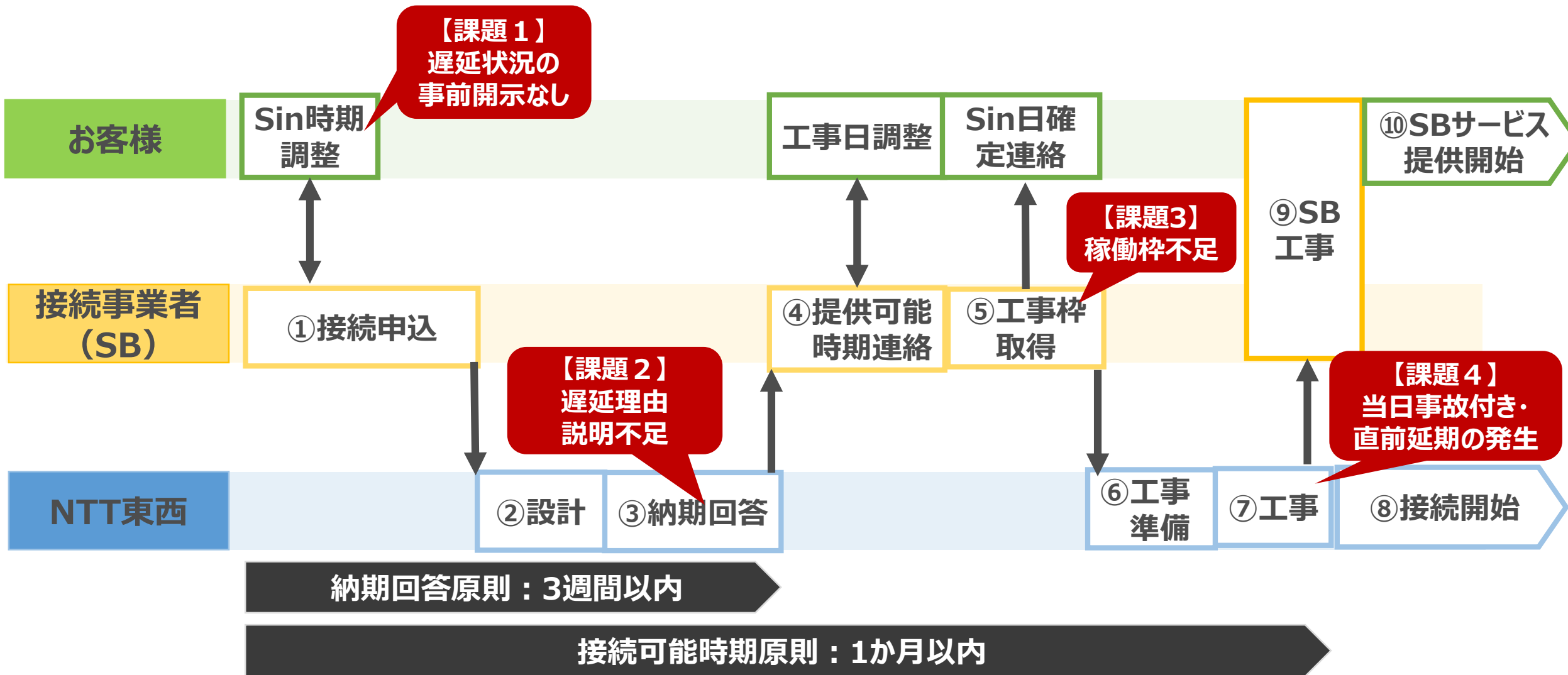


加入DFは直近でも**遅延傾向**
局内DF遅延は**約半年間継続**しており長期化
コロケーションは**電力リソース不足の提供不可**が目立つ



	コロケーション	局内DF	加入DF
NTT東日本	リソース不足による 設備設置NG	遅延傾向が継続	関東等で遅延傾向
NTT西日本			中国・九州で遅延傾向 (約1年半継続)

申込～接続開始までの各工程に遅延要因・課題あり



【課題 1】

遅延状況の事前開示なし

遅延発生の情報開示がなく、遅延状況を考慮したお客様とのスケジュール調整が困難、NTT加入DF以外の代替手段検討もできない

【課題 2】

遅延理由の説明不足

遅延状況や回答目途が示されず、お客様に状況説明ができない

【課題 3】

工事稼働枠の不足

工事稼働に空きがない場合、お客様希望日で工事できず工事日確定が遅延

【課題 4】

当日事故付*・
工事の直前延期

工事日で接続開始できず、お客様と合意済みの納期が未達

*当日事故付：芯線不良や工事ミス、設計ミス等で接続工事が完了できない事象

工事延期：設計ミスや工事許可取得漏れや接続に必要な事前準備(工事)が完了せず工事予定日の工事実施ができない事象

委員限り



特定の県においては2年前と比較し悪化傾向

委員限り



FY20から大きく悪化し、直近でも9割超の回線が遅延している県あり

委員限り

2年前から遅延傾向が継続

委員限り

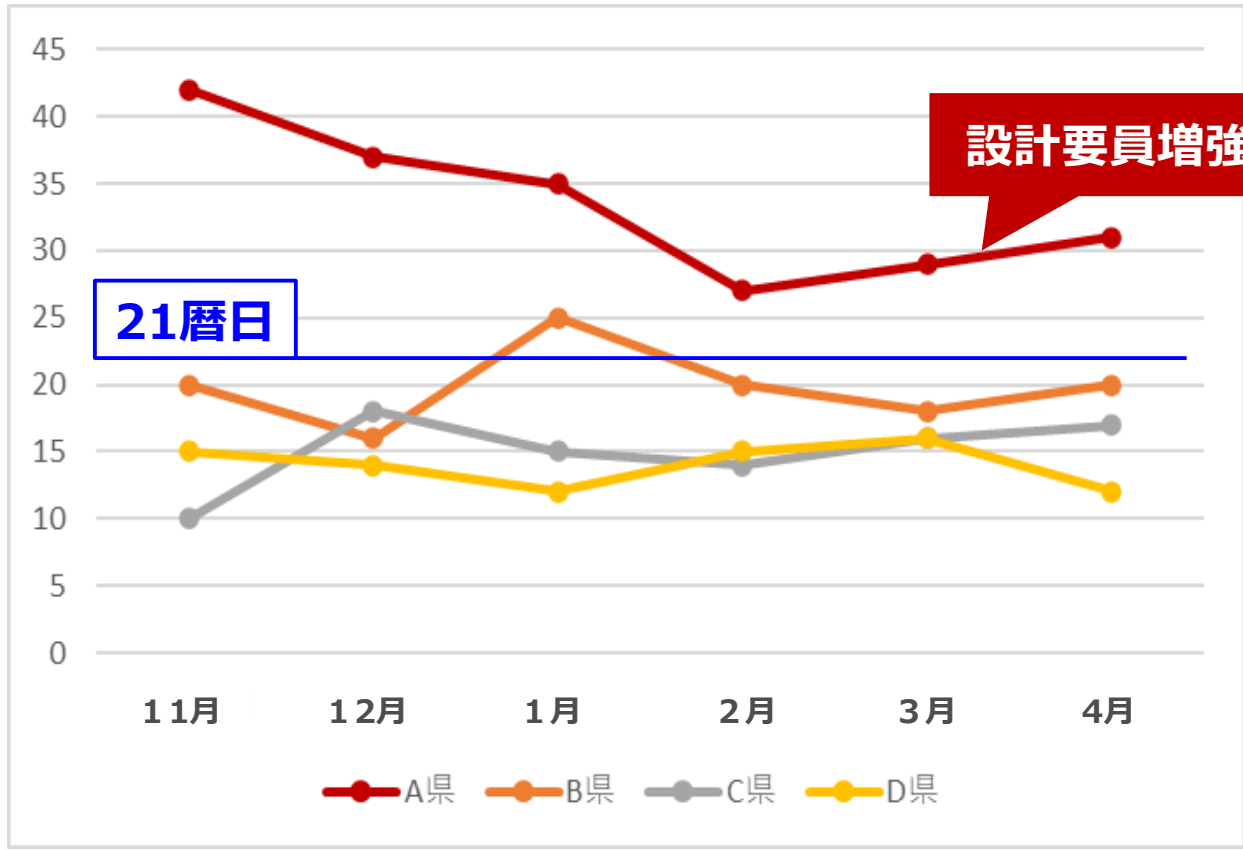
九州、中国の一部エリアで工事稼働が枯渇し、約1カ月間ほぼ空き無し

委員限り

更なる体制整備・強化を検討いただきたい

- ① 遅延が継続傾向にあるエリアへの**タイムリーな要員増強**
- ② 突発的な需要増にも柔軟対応可能な設計要員の**エリア間融通促進**

平均納期回答日



工事日確定後も、工事当日事故付きや工事日直前延期により 接続開始時期が遅延するケースあり

当日事故付き

- ・ 芯線不良や施工ミスによる光出力不足
- ・ NTT設計不備による工事実施不可
(PD盤*空き無し、空き芯なし等)

*お客様宅内の分界点

情報管理の精度向上を要望
(現場情報を設計に確実に反映)

工事日直前延期

- ・ 接続工事前のNTT工事の未完了
- ・ 公道での工事許可取得漏れ

**プロセス漏れ等を確実に防ぐ
仕組み強化を要望**

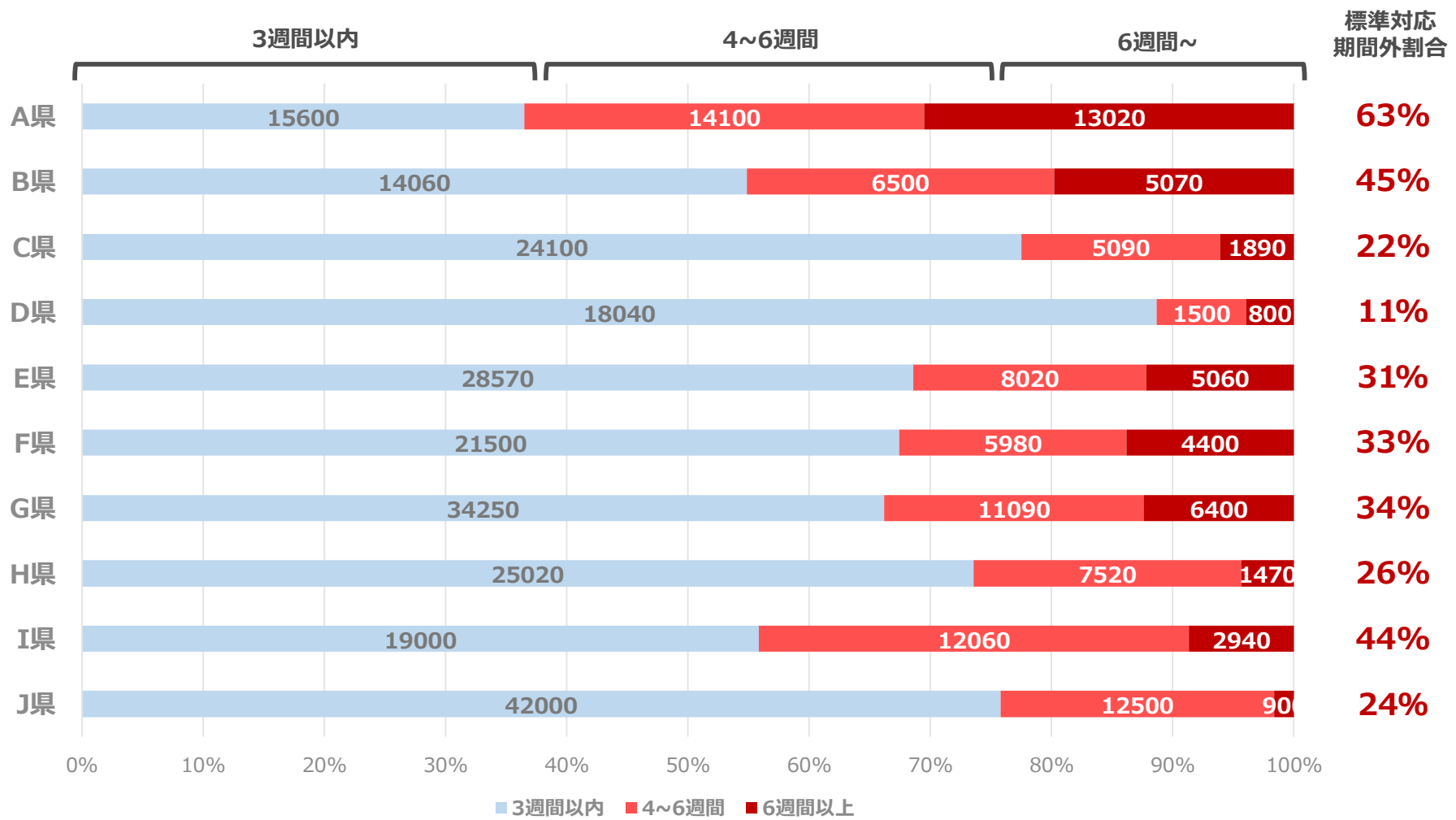
お客様と開通時期を調整するうえで、
エリア毎の状況や遅延理由、平均納期回答期間の情報は必須
週次での情報更新・公開を要望

エリア	種別	遅延状況	備考
A県	納期回答	正常	
	提供可能時期	正常	
B県	納期回答	正常	
	提供可能時期	正常	
⋮		⋮	⋮
C県	納期回答	遅延	平均回答時期：申込から45日 遅延理由：想定を上回る申込による稼働逼迫
	提供可能時期	遅延	平均提供可能時期：申込から70日 遅延理由：納期回答遅延及び工事稼働逼迫のため ※ 一部区間で芯線枯渇発生あり
D県	納期回答	遅延	平均回答時期：申込から60日 遅延理由：想定を上回る申込による稼働逼迫
	提供可能時期	遅延	平均提供可能時期：申込から90日 遅延理由：納期回答遅延
⋮		⋮	⋮

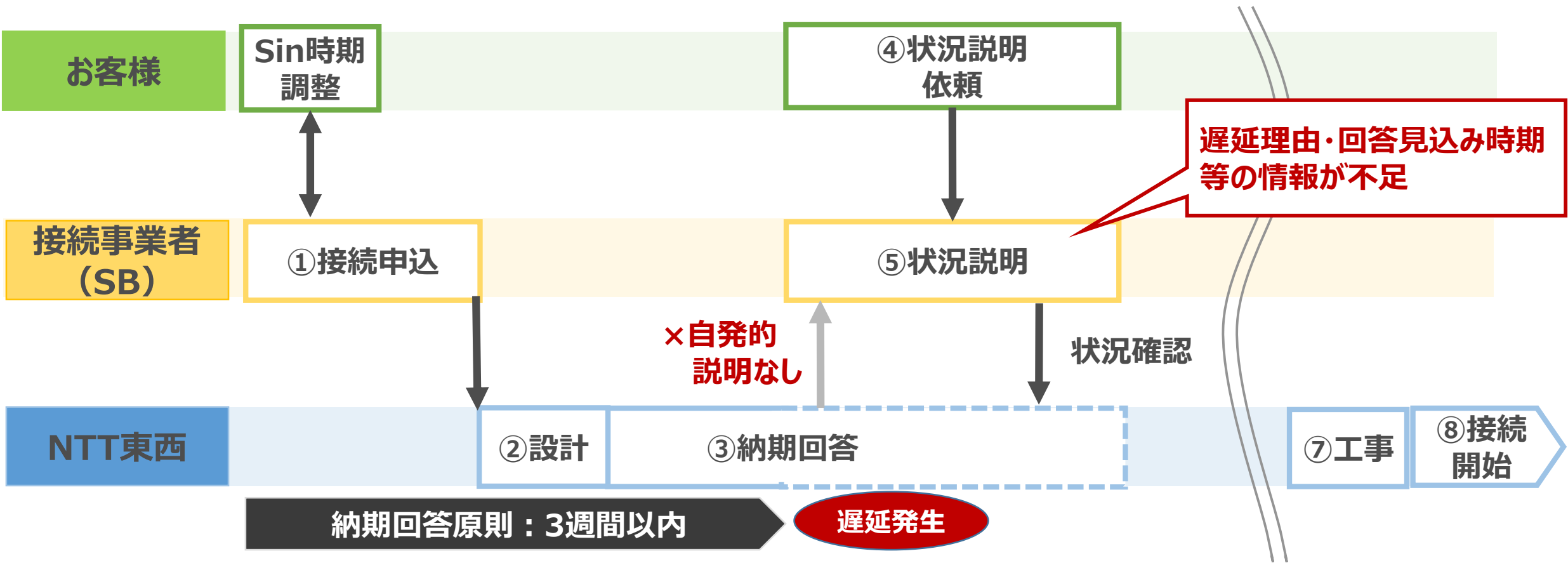
各エリア毎の納期回答実績を定期的に（半期毎など）
総務省へ報告・公表いただきたい

【イメージ】

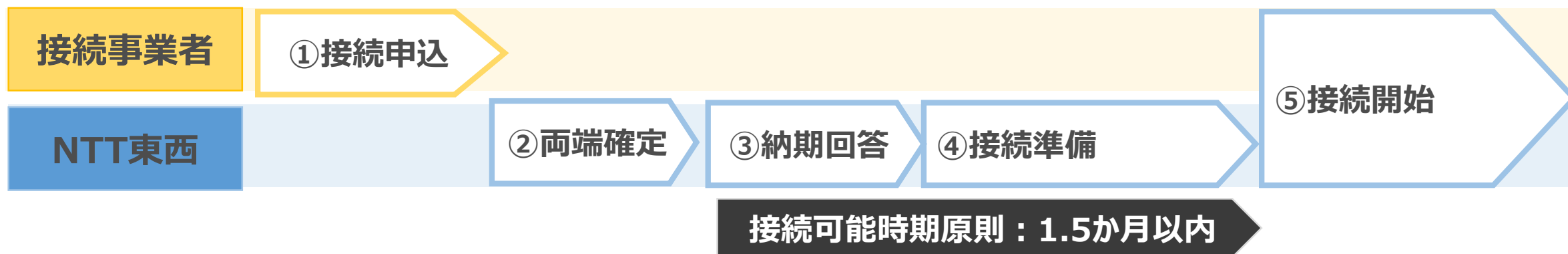
単位：申請数



納期回答が3週間を超える場合には、NTT東西殿から自発的に遅延理由等を説明いただきたい
（現在は、接続事業者からステータス確認を個別に問合せ）



両端確定から1カ月半以内に接続準備を整える
納期遅延が半年以上継続



NTT東日本殿からは、
納期遅延リストの提示あり
(2021年10月～継続中)

標準納期（両端確定から1カ月半の接続）を超過する申請はリスト連絡あり
（ルール化されておらず、NTT東日本殿の自発的取り組み）

NTT西日本殿にも同様の情報開示をお願いしたい

【イメージ】

事業者ID	事業者名	回線ID	エリア (圏域)	収容局名	提供可能時期 (納期回答)
0030	ソフトバンク株式会社	xxxxxxxx01	A県	YYYY	2022/5/12
0030	ソフトバンク株式会社	xxxxxxxx02	A県	YYYY	2022/5/12
0030	ソフトバンク株式会社	xxxxxxxx03	B県	BBBB	2022/4/27
0030	ソフトバンク株式会社	xxxxxxxx04	C県	CC	2022/4/27
0030	ソフトバンク株式会社	xxxxxxxx05	C県	CC	2022/5/11
0030	ソフトバンク株式会社	xxxxxxxx06	C県	DDDD	2022/5/11
0030	ソフトバンク株式会社	xxxxxxxx07	D県	EEE	2022/4/28
0030	ソフトバンク株式会社	xxxxxxxx08	E県	AA	2022/4/28
0030	ソフトバンク株式会社	xxxxxxxx09	F県	NNN	2022/4/28
...	...	...	...	...	...
0030	ソフトバンク株式会社	Xxxxxxxxx98	Z県	ZZ	2022/5/14
0030	ソフトバンク株式会社	Xxxxxxxxx99	Z県	ZZ	2022/5/14

開通時期を提示

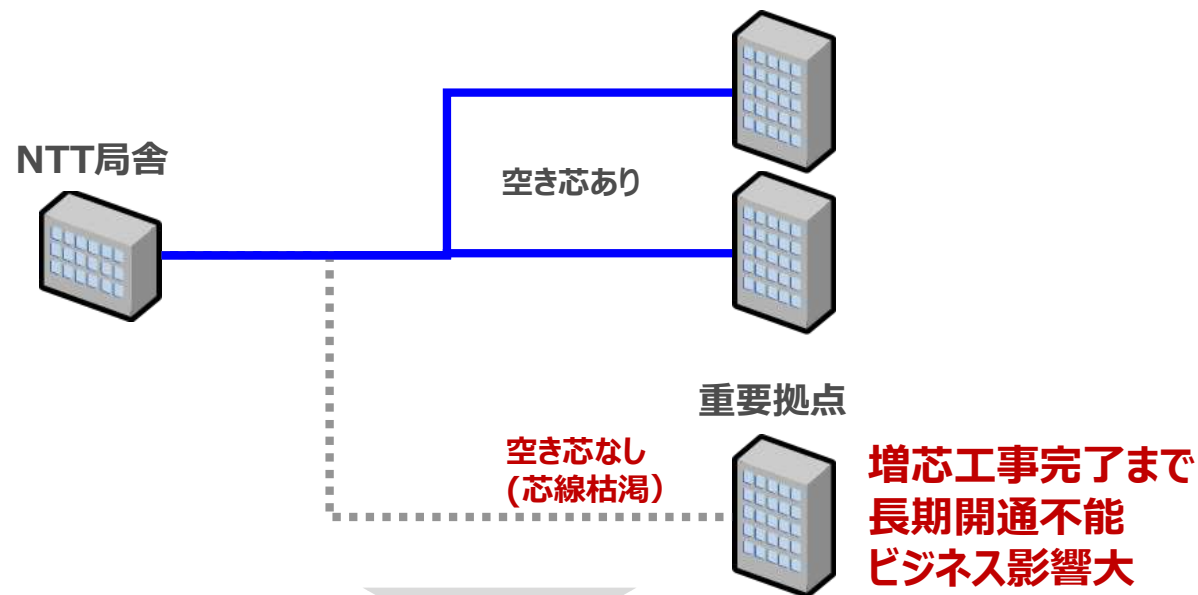
直近でもリソース不足による設備設置不可の局舎や、
特定ルート上の芯線枯渇による弊社重要拠点の回線開通不可が発生

コロケーションリソース不足

都道府県	局舎	NG理由	要増強 事業者 需要あり
A県	Dビル	電力	要増強 事業者 需要あり
B県	Eビル	スペース	
C県	Fビル	電力	事業者 需要なし
	Gビル	電力	
⋮	⋮	⋮	

接続事業者の需要を加味し、
需要のあるエリアは電力設備を増強
(リソース不足の予防・早期解消)

芯線枯渇



接続事業者指定の重要拠点は
中長期の空き芯状況を確認できる仕組みが必要
(接続事業者需要も加味しNTTで芯線状況を予想等)

遅延抑止	NTT東西殿における更なる体制整備・強化検討 (体制強化・リソースの柔軟運用・業務の効率化等)
	設計ミス等を生まないための更なるオペレーション改善 (現場情報の設計業務への確実な反映、問題発覚時の早急なリカバリ対応等)
情報提供	お客様とのコミュニケーション上必須となる 遅延の発生(発生可能性)、遅延状況、解消目途等の情報開示
	エリア別納期回答状況の定期的な総務省への報告・公表
リソース 枯渇抑止	需要計画等における接続事業者との連携強化 重要拠点における個別リソース確認スキーム確立
検証	NTTグループ優遇が生じていないかの検証 (市場検証の取り組みを通じたNTTグループ優遇検証)

EOF